

---

第13回 静大祭

# 全学の集い

---

37年11月25日(日)

主催 静大祭実行委員会

---

## スケジュール

### ★ 第 一 部

A.M10.00 於・文理・法経短期大学部

#### 5分科会シンポジウム

1. 大学管理制度改悪について（文理学部講堂）
2. 米ソの核実験競争について（学生控室）
3. 科学技術者と軍事産業（短大8番教室）
4. 現代社会における教育（文理12番教室）
5. 学生労働者の職場における役割（短大5番教室）

### ★ 第 二 部

P.M12.30～於・駿府会館

- |                   |           |
|-------------------|-----------|
| ▲ 学生歌歌唱指導         | PM. 12.30 |
| ▲ 挨拶・実行委員長、県知事、学長 | P.M 12.50 |
| ▲ 講 演 会           | P.M 13.30 |
| ▲ 学生歌発表会          | P.M 15.05 |
| ▲ 音 楽 会           | P.M 15.30 |
| ▲ 後夜祭「やすらぎの塔前」    | P.M 17.30 |

学 生 歌

静岡大学 学生歌

われら若人

高嶋善二 作詞

石井 歆 作曲

*allegretto* 軽快にはぎれよく

おきに任がれる任がれるくろしお  
 やぶじのたかねのそれよりもそれより  
 もふかくけだかくたくましくわれら  
 けらいをめぐすわニニどのわれ  
 らわれらわれらわれらはしずおがたいがくわれらわれらわれ  
 らわれらわれらわれらわれらはわれらはわニニど

われら若人

作詞 高嶋善二  
 作曲 石井 歆

- 一、沖に流れる(流れる)黒潮や  
 富士の高嶺たかねのそれよりも(それよりも)  
 深く気高くたくましく  
 われら未来めざす若人の  
 われら(われら)われら(われら)  
 われらは静岡大学  
 われら(われら)われら(われら)われら(われら)われら(われら)  
 われらは(われらは)若人
- 二、岡にただよう(ただよう)茶の香り  
 みかんの花のそれよりも(それよりも)  
 若く 清く すこやかに  
 われら 文化を荷になう 仲間たち  
 われら(われら)われら(われら)  
 われらは静岡大学  
 われら(われら)われら(われら)われら(われら)われら(われら)  
 われらは(われらは)若人
- 三、潮うしほ満ちくる浜名湖や  
 三保の浜辺のそれよりも(それよりも)  
 青く 広く 美しく  
 われら 真理まこともとむ 青年の  
 われら(われら)われら(われら)  
 われらは 静岡大学  
 われら(われら)われら(われら)われら(われら)われら(われら)  
 われらは(われらは)若人

## ★ 講 演 会

PM 1.30~3.00

於 駿 府 会 館

### 「歴史の中で自己を追求し現実社会に立ち向おう」

講 師 大 島 渚

#### ■講師紹介及びテーマに関して

松竹、京映という大資本のもとでの映画製作から離れ、フリーの立場で真の映画芸術を追求している映画監督。「愛と希望の街」を出発点として「太陽の墓場」「青春残酷物語」「日本の夜と霧」「飼育」「天草四郎時貞」等の問題作を発表している。

特に安保斗争直後に映画化された「日本の夜と霧」は安保斗争に於て現われた左翼と言われるものの内部の問題点をあらわにしたもので、封切りわずか四日目で会社側からあまりに難解すぎるという理由で、上映禁止を受けるという芸術運動に対する弾正を受けた。

会社という大資本のもとで、自由な芸術運動にとつては決定的な障害となるこうした会社の干渉は当然資本から比較的自由的な独立プロダクションへ行かざるを得ない。氏は特に最近この独立プロへの傾斜を強め、雑誌「映画評論」において特にこの独立プロからの自由な芸術運動の今日的必要性を論じている。

映画芸術というものが、単に我々のレジャーを満たすその場限りの娯楽消費の対象であつてはならないということはいうまでもないが、それは常に現実社会とその中に規制されつつ生きる人間そのものを直視し同時にそれらを乗り越えるものでなければならない。現状を映し出すと同時に、その現状に対して、敵対し否定することにより未来のヴィジョンを鮮明にえがき出すことを役割としている。この現実変革という論理がまた、映画にも貫かれなければならないであろう。特に映画は“観る”という極めて単純な動作によつて把握でき、それ故、大衆にたやすくつかむのであるが、その自己変革は常に映画製作者だけによつてなされるものでは決してなく、映画観客も同時に映画の内部に参加し共に映画を創造していくのである。

氏には、単に映画の立場からだけではなく、氏の京大時代に行つた文連委員長長の経験を生かしてこのテーマに関して講演してもらおう。

## ★ 学 生 歌 発 表 会

P.M 3.05~3.25

於 駿 府 会 館

過去幾度となく語られてきた学生歌の作成は、本年の大学祭を契機にやつと達成された。広く全学生から詩を応募して作られたもので、余学友に愛唱されることは間違いないと思う。

末長く愛唱してもらいたい。

- ▲作成経過報告
- ▲作曲者紹介
- ▲歌詞当選者記念品贈呈
- ▲歌唱指導

# ★ 音 楽 会

P.M 3.30 於 駿府会館

## I 男声合唱組曲……………静岡大学男声合唱団

|              |                             |    |    |     |       |   |  |
|--------------|-----------------------------|----|----|-----|-------|---|--|
| 柳            | 河                           |    |    |     |       |   |  |
| 梅雨の晴れ間       | 作詩                          | 北原 | 白秋 | 指揮  | 中村    | 和 |  |
|              | 作                           | 多田 | 武彦 |     |       |   |  |
| Media Uita C | From "Ekkehard" by Scheffel |    | 訳詩 | 安田  | 二郎    |   |  |
|              |                             |    | 作曲 | Max | Bruch |   |  |
|              |                             |    | 指揮 | 平野  | 茂樹    |   |  |

## II ギター演奏……………農学部 ギタークラブ

工学部 ギターアンサンブル

|         |     |                |
|---------|-----|----------------|
| 希望のささやき | 3重奏 | 農(林、岡田、梶櫛、柄)   |
| 白鳥のおどり  | 4重奏 | 工(児島、池田、中村、清水) |
| 荒城の月    | 3重奏 |                |

## III 器楽合奏……………農学部器楽合奏

|               |    |               |
|---------------|----|---------------|
| The Pireacher | 作曲 | Horace Silver |
| So Tired      | 作曲 | Bobby Timons  |
| すずかけの径        | 作曲 | H. Haida      |
| 五つ木の子守歌       | 日本 | 民謡            |

## IV マンドリン演奏……………静岡大学マンドリンクラブ

|         |    |      |
|---------|----|------|
| 碧       | 空  |      |
| モスクワの夜  | 指揮 | 三浦富夫 |
| 夢のタンゴ   |    |      |
| Tonight |    |      |

## V 混声合唱……………静岡大学音楽部

|           |                  |    |       |
|-----------|------------------|----|-------|
| 合唱(混声四部)  | オーケストラ伴奏(静大管弦楽団) | 指揮 | 岡田 憲二 |
| 天地創造      |                  | 作曲 | ハイドン  |
| ファウストの円舞曲 |                  | 作曲 | グノー   |

# 祝 静 大 祭

日本楽器製造株式会社

浜 松 市 中 沢 町